

令和5年度「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」地域課題

地域課題1	熊 本 県
課題タイトル	令和2年7月豪雨の被災地域における地域の持続に必要な取組みについて
課題の概要 (背景や理由等)	<p>令和2年7月豪雨で大きな被害を被った球磨川流域市町村※及び津奈木町(以下、被災地域)では、被災以前から人口減少と地域経済活動縮小の悪循環に陥っていた。中でも、15～19歳の若者の人口流出が顕著であり、当該地域を持続させるためには、若者が「就きたい」と思える仕事の創出や「来たい」と思える魅力ある地域づくりなどの取組みが必要と考えられる。</p> <p>(※八代市、人吉市、芦北町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村の12市町村)</p> <p>そこで、被災地域のいずれかの市町村を対象に、地域の特徴等を示すデータを分析して課題を見つけていただき、その地域でのフィールドワークや自治体へのヒアリングを通して、課題を解決できるような政策を検討していただきたい。</p> <p>また、政策アイデアコンテスト終了後に自治体と連携して実施する等、実現可能性のあるアイデアを是非提案していただきたい。</p>
備考	<p>地域の課題については、各種統計データ(※1)や各市町村が策定している「復興計画」(※2)を参考に分析してください。</p> <p>(※1) RESAS 地域経済分析システム https://resas.go.jp/#/13/13101 e-Stat 政府統計の総合窓口 https://www.e-stat.go.jp/</p> <p>(※2) 人吉市復興計画「第5章 未来につながるまちづくり」 八代市坂本町復興計画「第4章 復興に向けた取り組み」 球磨村復興計画「第5章 復興に向けた計画体系」 等</p>

地域課題2	熊 本 市
課題タイトル	市民一人ひとりの幸福度を高めるためのまちづくりについて
課題の概要 (背景や理由等)	<p>人口減少・少子高齢化によって、地域コミュニティや医療・福祉・教育、経済・雇用、都市機能、行政サービスなどに対する様々な影響が想定される中において、本市のめざすまちの姿「上質な生活都市」を実現させていくためには、経済成長という物質的な価値だけではなく、心身の健康や暮らしやすさといった生活の質を含めた市民の幸福度、いわゆる「ウェルビーイング」を高めていくことが必要である。</p> <p>そこで、熊本市の将来を担う学生の皆様には、多様な市民一人ひとりの幸福度を高めることができる「まち」の姿がどのようにあるべきかについて考えていただきたい。</p> <p>そして、学生の皆様が考えたあるべき「まち」の姿を実現するために必要な政策について提言いただきたい。</p>
備考	<p><WHO(世界保健機関)憲章(1964年)におけるウェルビーイングの定義></p> <p>健康とは、単に疾病や病弱な状態ではないということではなく、身体的、精神的、そして社会的に完全に良好ですべてが満たされた状態である</p>